

はんの梢

学校教育目標
ゆたかな心 たくましい力
R6 重点目標 み が く

学校だより 11月号
大井川東小学校
R6. 11. 20



検索【大井川東小学校】

子供の自立に向けて



朝夕の涼しさに秋らしさを感じます。子供たちも学習や行事等に力を注ぎ、それぞれの成長につなげています。最近「主体性」という言葉がよく聞かれるところですが、本校でも子供が自ら気づき、考え、行動できる、つまり「み・が・く」の姿になるよう、大人の関わり方を考えています。

ところで、先日、「サザエさん」が放送55周年、ギネス世界記録を更新のニュースがありました。知らない人はいないくらい、昭和の生活を今に伝える国民的アニメです。皆さんはこんなにも長く続いている理由は何だと思いますか。人によって感じる魅力は様々だと思うので、100人に聞けば100の魅力が語られると思います。その1つに平凡な日常生活にあふれる家族愛ではないかと思っています。明るく朗らか、でもおっちょこちょいのサザエさん、威厳と貴祿たっぷり、情に厚くお人よしの面もある波平さん、家族をいつもあたたかく見守っているフネさん、やさしく誠実で、だけどお人好で気が弱いところもあるマスオさん、いたずら好きでいつも叱られているカツオ君、しっかりもので優しいワカメさん、好奇心旺盛なタラちゃん、こんな大家族は自分の主張はするけれど相手のことも考え、そして、全員でご飯を食べ、1日にあったことを共有しています。カツオ君もワカメさんも「姉さん」「マスオ兄さん」と頼ると必ずそれに応えるサザエさん、マスオさん。子供たちに寄り添う大人がいつもいることが安心につながって、どんなことでも話し、素直に聞くことができる関係になっていると思います。カツオ君やワカメさんの主体性はこんな家族愛の中で育まれているのだと思います。

先日、スクールカウンセラー蔭山昌弘氏の講演を聴講する機会がありました。その中で子供の自立に必要な力は「自己肯定感」「自己主張する力」「人と交わる力」「意欲…失敗を恐れない力」とありました。特に自己肯定感を手に入れるためには、親は①ニコニコ笑って話を聞き、受け止める、②失敗したときは受け止める、③叱るときは行為だけ、④親も弱音を見せる、という話がありました。これを聞いたとき、磯野家の姿そのものだと感じました。

子供は大人の姿を見て成長しています。だからこそ、子供の見本となる姿で関わらなければ感じます。決して、大人の顔色をうかがう子供だけにはならぬよう、関わり方を考えていきます。



5年生 かがやき教室

10月22・23日、朝霧野外活動センターで活動を行ってきました。地図を頼りにゴールまで歩いたり、キャンプファイヤーを囲んで歌ったり踊ったりしながら、大自然の中で仲間と協力し合いながら取り組みました。



6年生 修学旅行

11月7・8日、東京方面へ修学旅行に行ってきました。国会議事堂、国立競技場、TDL、伝統工芸体験、東京タワーとどれも子供たちにとってよい体験となりました。また、人の多さに圧倒されるなど、静岡では体験できないことばかりの2日間となりました。

